

Media Release

2020年8月24日

中央銀行の気候変動シナリオ - パリ協定の目標達成には、日本のエネルギーミックス の早急な脱炭素化が必要 -

中央銀行の世界的なネットワークによって作成された気候変動シナリオによると、パリ協定の目標を達成するには、日本のエネルギー市場は現行の基本計画よりもはるかに迅速に脱炭素化する必要があることが、気候変動に関するアジア投資家グループ（AIGCC：Asia Investor Group on Climate Change）が新たに実施した分析で明らかになった。

また、この気候変動リスク等に係る金融当局ネットワーク（NGFS：Network of Central Banks and Supervisors for Greening the Financial System）による気候変動シナリオは、パリ協定の目標達成には、アジアのエネルギーセクター全体で2050年までに毎年3,300億米ドルの追加投資が必要となることを示唆している。

NGFSによって6月に公表された同シナリオは、地球温暖化を放置することによって生じる可能性のある社会経済的な影響に加え、パリ協定に沿ったネットゼロエミッションへの秩序だった移行および無秩序な移行のシナリオを提示している。同ネットワークには、中国や日本、韓国などのアジア主要国の中央銀行ならびに金融監督当局が関わっている。

地球温暖化を1.5°Cに抑える秩序だった移行シナリオでは、2030年までに日本の電力供給のおよそ半分を再生可能エネルギー、20%を原子力が賄う一方で、石炭と天然ガスの使用は限定的になり、いずれも2035年から2040年の間に電力システムから排除されることになる。

来年に見直しが予定される日本の現行のエネルギー基本計画は、2030年までにエネルギーミックスの27%を天然ガス、26%を石炭、22~24%を再生可能エネルギーで賄うのが“望ましい”としている。これは、パリ協定の目標達成には再生可能エネルギーによる供給を少なくとも倍増させる必要がある一方で、現行および将来の石炭火力・天然ガス発電事業は重大な移行リスクに直面していることを意味する。

NGFSの全てのシナリオにおいて、アジア全域で再生可能エネルギーによる発電量は増加する。パリ協定に整合したいずれのシナリオでも、2040年から2050年の間に石炭火力発電は廃止され、天然ガスによる発電は2025年にピークに達し、その後は減少する。NGFSのシナリオは、地球温暖化が抑制されないまま放置された場合には、2050年までに世界経済に与える年間損失額は世界の国内総生産（GDP）の5~8%

Media Release

に及ぶことを示唆しており、それどころかその規模は過小評価されている可能性が高いと認識されている。

AIGCC のシニアマネージャーである古野真氏は、それらのシナリオは、日本およびより広域にわたるアジアのエネルギー市場には、電気事業の CO2 排出係数が高いために重大な移行リスクがあることを浮き彫りにしているという。

古野氏は次のように述べている。

「来年、日本はエネルギー基本計画を見直すこととなります。日本がパリ協定の下で課された国際的義務を果たすべくゼロカーボン・エネルギーへの移行を確実にを行い、クリーンエネルギーへの巨額の新規投資を喚起するために、その見直しの際には、自国を含めた世界各国の中央銀行および金融監督当局によって作成されたシナリオが考慮されるべきです。

パリ協定に整合したシナリオは、いずれも 2025 年以降に天然ガスによる発電が減少する一方で、石炭火力発電は早急に廃止されることを示唆しています。これは、クリーン電力システムへの移行が加速する中、再生可能エネルギーへの投資がより一層魅力的になることを意味します。

また、中央銀行のシナリオは、地球温暖化を抑制できなかった場合には、物理的なリスクにより世界経済に多大なダメージを与えることを明示しており、日本も例外ではありません。このことは、日本における近年の熱波や洪水によっても顕在化しています。

それと同時に、2050 年までのネットゼロエミッション達成に向けて加速するエネルギー市場の脱炭素化は、大きな投資機会を生み出します。日本のような国がパリ協定と整合する明確な中期目標を伴う安定した政策を打ち出すことができれば、その市場に民間資金を呼び込み、その結果としてイノベーションを促進し、新たな雇用と繁栄をもたらすでしょう」。

AIGCC の政策ブリーフィング「中央銀行の気候変動シナリオ：NGFS の解説」の全文は[こちらにて](#)。

---以上---

この件に関するお問い合わせ先：

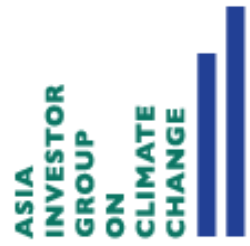
古野 真【英語・日本語】

気候変動に関するアジア投資家グループ（AIGCC）シニアマネージャー

TEL：+817027933648

E-mail：shin.furuno@aigcc.net

Media Release



トム・アラップ (Tom Arup) 【英語】
気候変動に関するアジア投資家グループ (AIGCC) コミュニケーション戦略・ディレクター
TEL : +61402482910
E-mail : tom.arup@aigcc.net